

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-087038

(43)Date of publication of application : 31.03.1995

(51)Int.Cl.

H04H 1/02
H04N 7/173

(21)Application number : 05-229965

(71)Applicant : TOSHIBA CORP

(22)Date of filing : 16.09.1993

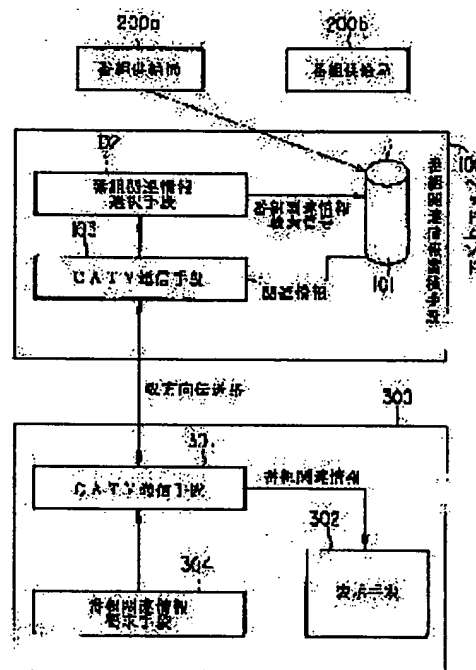
(72)Inventor : TASHIRO SHIGERU

(54) PROGRAM RELATED INFORMATION PRESENTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To simply acquire the program related information by effectively utilizing a data transmission reception function of a 2-way CATV system.

CONSTITUTION: When a program related information request means 304 of a subscriber terminal equipment 300 provides an output of a signal requesting related information of a required program, the request signal is given to a program related information selection means 102 of a head end 100 through a CATV communication network thereby retrieving information of a program related information storage means 101. Then the required related information is sent to the subscriber terminal equipment 300 through the CATV communication network and displayed on a display means 302.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-87038

(43) 公開日 平成7年(1995)3月31日

(51) Int.Cl.⁶

H 0 4 H 1/02

H 0 4 N 7/173

識別記号

F

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平5-229965

(22) 出願日 平成5年(1993)9月16日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72) 発明者 田代 成

神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番地 株

式会社東芝映像メディア技術研究所内

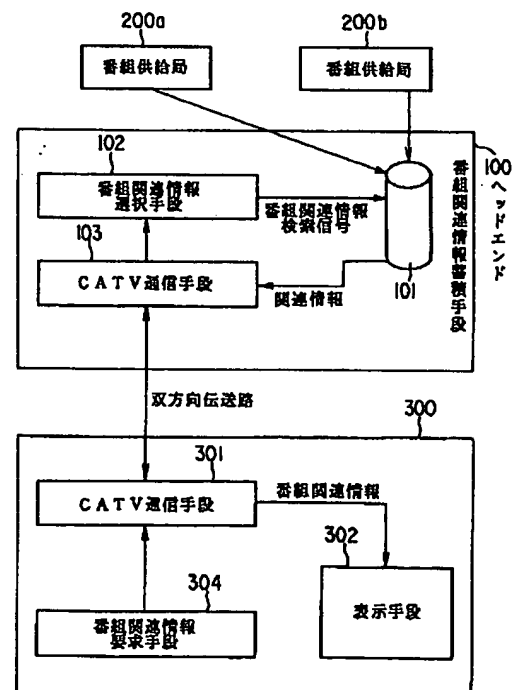
(74) 代理人 弁理士 鈴江 武彦

(54) 【発明の名称】 番組関連情報提供システム

(57) 【要約】

【目的】 双方向CATVシステムのデータ送受信機能を有効に活用して、簡単に番組関連情報を取得できるようにする。

【構成】 加入者端末装置300の番組関連情報要求手段304から、必要とする番組の関連情報を要求する信号を出力すると、この要求信号はCATV通信網を通じてヘッドエンド100の番組関連情報選択手段102に与えられ、これにより番組関連情報蓄積手段101の情報が検索される。そして必要な関連情報は、CATV通信網を通じて、加入者端末装置300に伝送され、表示手段302において表示される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】番組供給局側に、

番組供給局において作成された番組の番組関連情報を蓄積した番組関連情報蓄積手段と、

要求信号に応じて、前記番組関連情報蓄積手段から番組関連情報を読み出し、

伝送路へ送出する送出手段とを備え、

端末装置側に、

前記要求信号を前記伝送路に送出する要求信号送出手段と、

前記伝送路を介して伝送されてきた前記番組関連情報を取り込む取り込み手段と、

前記取り込み手段で取り込まれた前記番組関連情報を表示する表示手段とを備えたことを特徴とする番組関連情報提供システム。

【請求項 2】前記端末装置側には、さらに取り込まれた前記番組関連情報を蓄積しておくためのデータ蓄積手段が設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の番組関連情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、双方向CATVシステムに適用される番組関連情報提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】CATVシステムを利用する加入者は、番組を視聴した後で、例えば番組の取材場所、取材店の電話番号、名称、あるいは歌番組等では曲名、歌手等の番組関連情報を要望することが多々ある。このような場合、従来は、電話や手紙等で番組供給局に問い合わせを行っている。また最近では、パソコン通信サービス会社があり、ここにパソコン通信により問い合わせ、情報提供の要求を行う場合がある。

【0003】図3(A)は、電話機11により番組供給局12に番組関連情報を問い合わせる場合の概略図を示している。また図3(B)は、パソコン通信サービス会社21に、パソコン22を利用して問い合わせを行う場合の例を示している。パソコン通信サービス会社21は、複数の番組供給局23a、23b等から番組関連情報を収集して、データベース24として保持している。ユーザからパソコン22を利用した要求があると、その要求に対応した番組関連情報をユーザに伝送している。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】図3(A)に示したような方法で番組関連情報を要求した場合、ユーザは電話による応答をメモする必要がある。また番組関連情報の情報量が多い場合は、電話の応答をメモすることは不可能に近い。図3(B)に示したような方法で番組関連情報を要求する場合、自宅にパソコン設備が必要であり、使用目的が番組関連情報のみのためであれば無駄である。また、パソコン通信サービス会社との契約が必要

である。

【0005】そこでこの発明は、双方向CATVシステムのデータ送受信機能を有効に活用して、簡単に番組関連情報を取得できるようにした番組関連情報提供システムを得ることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この発明は、番組供給局側に、番組供給局において作成された番組の番組関連情報を蓄積した番組関連情報蓄積手段と、要求信号に応じて、前記番組関連情報蓄積手段から番組関連情報を読み出し、伝送路へ送出する送出手段とを備え、端末装置側に、前記要求信号を前記伝送路の送出する要求信号送出手段と、前記伝送路を介して伝送されてきた前記番組関連情報を取り込む取り込み手段とを備えるものである。

【0007】

【作用】上記の手段により、CATV会社との契約のみで容易に番組関連情報を取得することができ、端末側に記憶手段、表示手段があるので、当該情報を容易に蓄積したり、表示することができるようになる。

【0008】

【実施例】以下、この発明の実施例を図面を参照して説明する。図1はこの発明の一実施例である。100はヘッドエンドであり、番組関連情報蓄積手段101を有する。この番組関連情報蓄積手段101には、多数存在する番組供給局200a、200bから収集された番組関連情報（ある番組に対する取材場所、取材店、その電話番号等、歌番組に対する歌の曲名、CD販売会社、歌手名等）が蓄積されている。この番組関連情報の中から、希望の関連情報を読み取る場合は、番組関連情報検索信号が与えられる。この番組関連情報検索信号は、番組関連情報選択手段102から出力される。この番組関連情報選択手段102は、ユーザからの要求信号に対応した番組のための番組関連情報検索信号を発生する。要求信号は、CATV通信手段103にて受信された信号である。CATV通信手段103は、ユーザが所有する加入者端末装置300に設けられているCATV通信手段301との間で双方向通信が可能である。CATV通信手段103は、番組関連情報蓄積手段101から、番組関連情報が出力されると、これをCATV伝送路に送出する。

【0009】加入者端末装置300は、伝送路を介して伝送されてきた番組関連情報をCATV通信手段301で受信し、復調し、番組関連情報表示手段302に供給する。するとこの番組関連情報表示手段302は、番組関連情報（例えば番組名、放送時間帯、取材場所、取材店、その電話番号等）を表示する。

【0010】番組関連情報を要求する場合には、番組関連情報要求手段304に例えば番組に与えられている番組コードを入力する。すると、番組関連情報要求手段304は、加入者端末装置300のIDを番組コードに付

加して要求信号としてCATV通信手段301に供給する。これにより要求信号は、ヘッドエンド100のCATV通信手段103に到達し、先に説明したように、番組関連情報が加入者端末装置300のIDとともに送り返されてくる。加入者端末装置300は、CATV通信手段301において自己のIDを検出すると、番組関連情報を番組関連情報表示手段302に供給する。

【0011】上記の実施例では、番組関連情報が表示手段302により表示されるとしたが、音声によって出力されてもよい。なお表示手段302における表示方式としては、文字あるいは図形等がある。さらに加入者が所有するテレビジョン受像機において、文字放送の如く表示されてもよい。

【0012】上記の実施例においては、ヘッドエンド100が番組関連情報蓄積手段101を備えている。しかしこれに限らず、図2に示すように、番組供給局200a、200bが自己の番組関連情報蓄積手段201a、201bを備えている場合もある。この様な場合は、ヘッドエンド100の番組関連情報蓄積手段を省略し、ヘッドエンド100には、上記番組関連情報蓄積手段201a、201bをアクセスする手段を設ければ良い。つまり、番組関連情報選択手段から直接番組関連情報検索信号を番組供給局200a、200bへ伝送するようにして、検索した番組関連情報をCATV通信手段に取り

込むようにしても良い。

【0013】上記の実施例では、番組関連情報は、番組関連情報表示手段302に表示されるだけのよう説明したが、必要に応じてユーザは、番組関連情報をデータ蓄積手段303に格納するようにしても良い。この様に蓄積しておくことにより、ユーザは、必要なときに関連情報を表示して利用することができる。

【0014】

【発明の効果】上記したようにこの発明によれば、双方向CATVシステムのデータ送受信機能を有効に活用して、簡単に番組関連情報を取得でき、安価にCATVシステムの利用価値を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の一実施例を示す図。

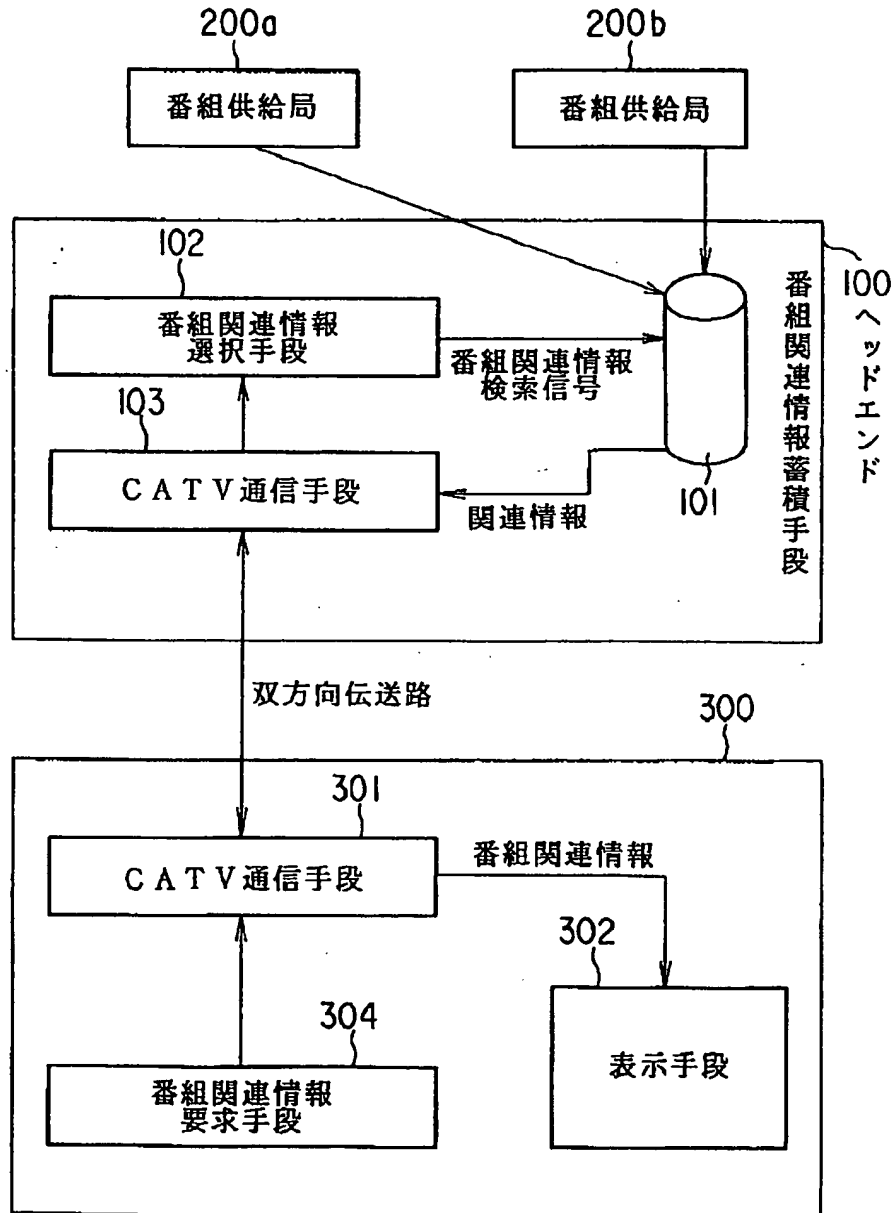
【図2】この発明の他の実施例を示す図。

【図3】従来の番組関連情報取得方法を説明するために示した図。

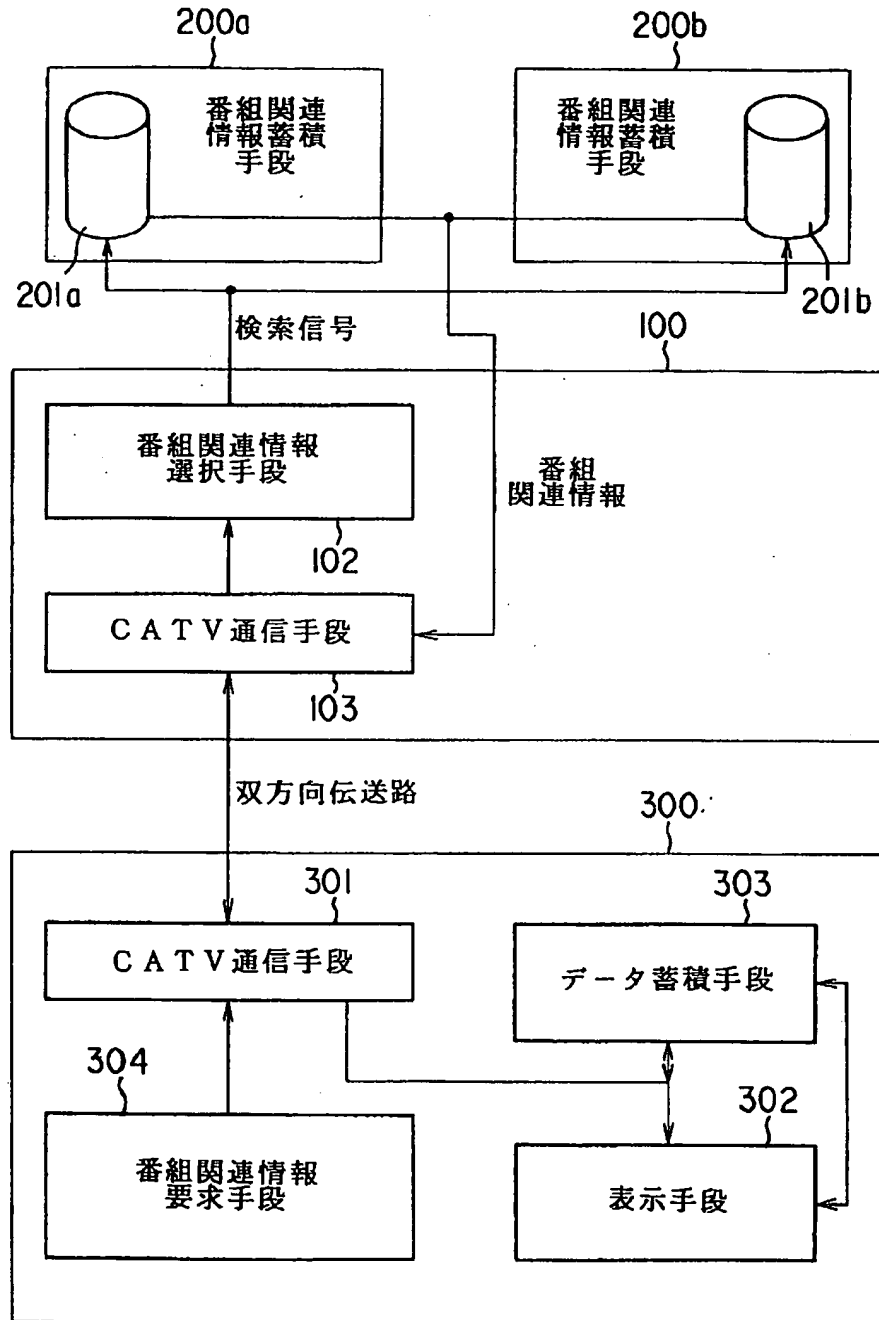
【符号の説明】

100…ヘッドエンド、101…番組関連情報蓄積手段、102…番組関連情報選択手段、103…CATV通信手段、200a、200b…番組供給局、300…加入者端末装置、301…CATV通信手段、302…表示手段、303…データ蓄積手段。

【図1】



【図2】



【図3】

